

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信 第38号 2006年 7月

やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課 編集 かながわ森林インストラクターの会
 ☎258-0021足柄上郡開成町吉田島2489-2
 ☎0465-85-1900 URL: http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin

やどりき水源林 定例観察会のお知らせ

毎日曜日午後1時より1~2時間の水源林をご案内する観察会をかながわ森林インストラクターの会【森の案内人】で行っております。参加希望の方は1時までに水源林ゲート前にご集合ください。費用負担等はございません。

雨の季節の水源林

梅雨の間降った雨で樹木は生長し、土壌にはたっぷりと水分を蓄えています。しかし、梅雨の間も水源林の活動は休みがありません。7月上旬の水源林の様子と、活動の模様をお伝えします。



スギ、ヒノキ等の樹木は光合成、成長などの諸活動を行うために十分な水を必要とします。水が不足すると樹木の成長が阻害され、年輪の間隔が狭くなるという調査結果があるそうです。

人間生活にはうとうしい梅雨の雨ですが、樹木にとっては成長する上で欠かすことが出来ません。



やどりき沢は梅雨の雨を集め、水源林の谷間を流れて行きます。今年は雨の量も十分なようです。

去年は多く見られたホタルブクロも、今年は広場の隅に一輪だけひっそりと咲いていました。春を彩った樹木の花々は、この時期緑色に結実しています。熟するのはもう少し先です。



広場に一輪咲くホタルブクロ



ハナイカダの実は葉の真ん中に



上向きに数個のクロモジの実

梅雨の間も水源林では森林づくりなど色々な活動が行われていますが、2つの活動を紹介します。



やどりき水源林は、県民参加の森林づくり活動の場として、ボランティア林やパートナー林などを設けて整備が進められていますが、横浜にある「つくの幼稚園」もパートナーとして毎年この時期に園児が訪れ、水源林に親しむ行事を行っています。

この日は、森林インストラクターの解説でBコースを途中まで歩き、ムササビの巣の観察などを行いました。その後、やどりき沢で水生生物の観察を行い、多くの水生生物を採取しました。やどりき水源林には多様な生物が生息していることが実感できたと思います。



両手を双眼鏡代わりにムササビ観察



親子で水生生物採取



カジカにサワガニそれからオタマジャクシ、いろいろ観察できました。

森林インストラクターの会はやどりき水源林をフィールドに、観察会や森林づくり活動など種々の活動を行っています。今月は森林文化部会主催で、竹細工に親しむ目的でうちわ作りの体験を行いました。



骨組みの竹を裂く作業



ヒゴを作る要領で竹を裂いて行く



出来上がった骨組み。これに和紙を貼り付けて出来上がり

今月のトピックス

- 雨の中、**オオルリ**のさえずりがひときわ目立ちます。
- 咲いていた花；ホタルブクロ、イチヤクソウ、キバナショウキラン、トチバニンジン、テイカカズラ等

オオルリ

代表的な夏鳥で、やどりき水源林でも4月から7月にかけて、高い枝先で「ピーフィピーフィリリー、ジジッ」などと朗々と鳴く、オオルリのさえずりを聞くことができます。最後にジジッで終わるのが特徴です。

来月の見所など

- 夏休みには、川遊びを楽しむ多くの家族連れでにぎわっています。インストラクターの会でも、水生生物の観察、調査を行います。